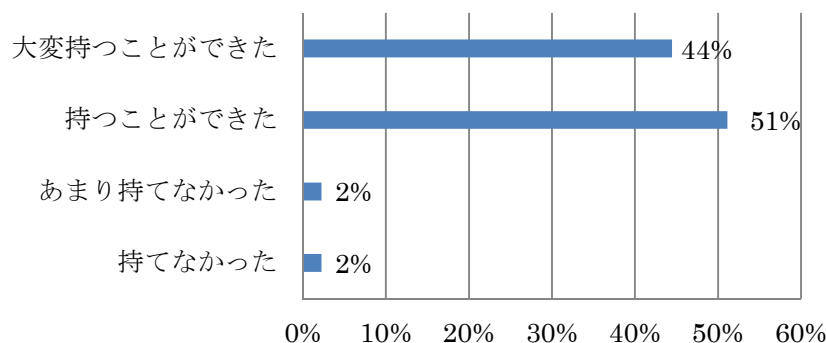


第4回国有林モニターアンケートの結果

1. 国有林モニターとなったことにより、国有林野事業に興味を持てましたか。



主な理由やご意見等

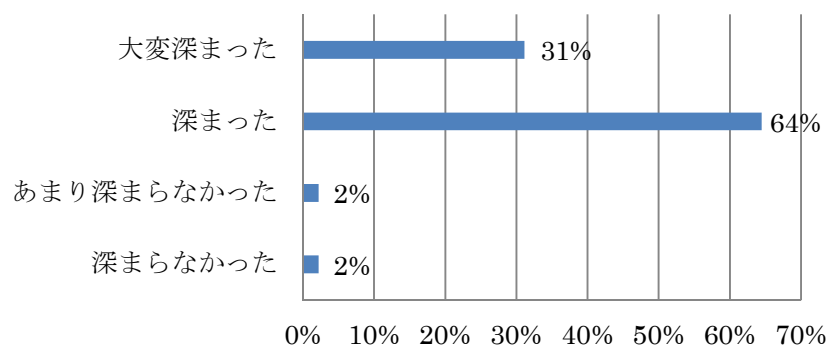
(大変持つことができた、持つことができた方)

- ・国有林の活動について、細かく知らない部分も、毎月、送付されてくる資料などを通じて、幅広い事業展開を知ることができた。
- ・情報誌やパンフレットで、今まであまり興味のなかった国有林について気にするようになった。また、考えさせられることも多々あった。
- ・全国の国有林について、経営的・環境保全的・自然景観的等の色々な目的のため、事業を計画実施している事が具体的に分かり、その努力と苦労、成果を理解できた。

(あまりもてなかった、持てなかった方)

- ・もっと分かり易くしてほしい。

2. 国有林モニターとなったことにより、国有林野事業への理解は深まりましたか。



主な理由やご意見等

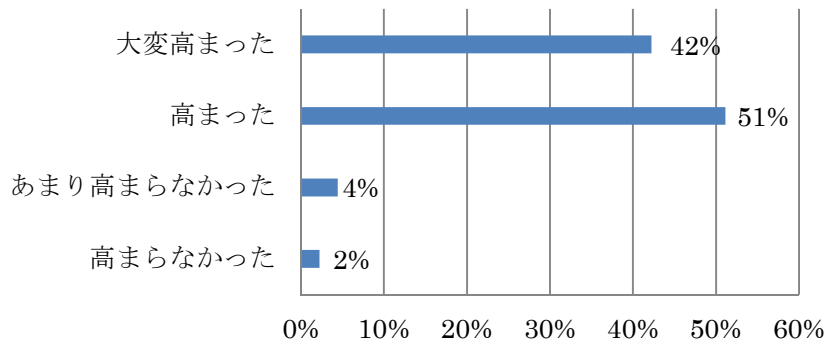
(大変深まった、深まった方)

- ・林野庁の活動は都会にいと知る機会が少なかったが色々な活動を知ることができた。
- ・森林の役割と木材の利用など知らないことが多く、毎月の冊子で楽しく学べた。
- ・国有林が国民の共通の財産として、広く理解を求めるときとも思う。
- ・地元の森林イベントに参加するようになった。

(あまり深まらなかった、深まらなかった方)

- ・もっと参加型のイベントがあった方がよいと思う。

3. 国有林モニターとなったことにより、森林・林業への関心は高まりましたか。



主な理由やご意見等

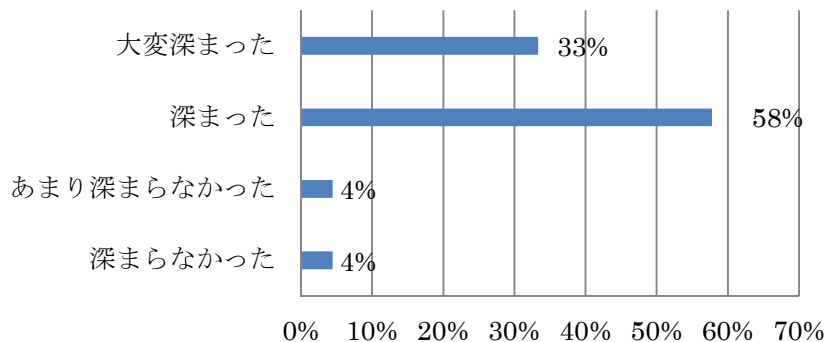
(大変高まった、高まった方)

- ・ 林業の現場へ視察する機会があり、実際に林業に携わっている方々の話を聞き、参考になった。
- ・ 自分の住んでいる町も山林の多い地域なので、今後も意識していきたいと思う。
- ・ 大雪、豪雨、台風、日本の厳しい自然の中、国土の保全にかかせない仕事と感じた。
- ・ 林業の重要さが理解でき、日本産の木材を使用していきたい。
- ・ 関心は高まり、自分の子供達にも関心を持ってもらいたいと思った。

(あまり高まらなかった、高まらなかった方)

- ・ 元々関心があってモニター応募したが、知識は増えたが関心度は上がらなかった。

4. 国有林モニターとなったことにより、森林・林業に関する知識が深まりましたか。



主な理由やご意見等

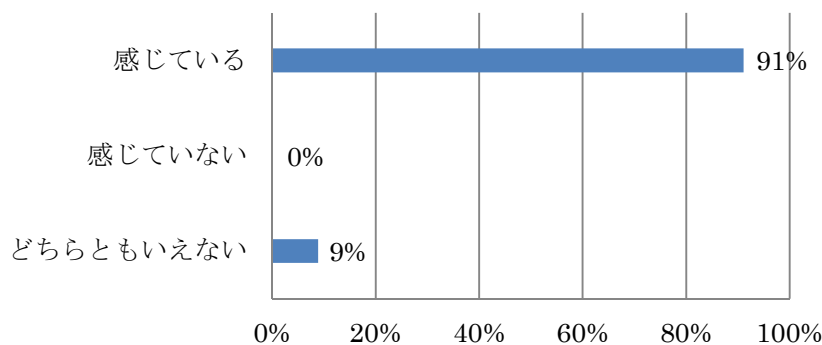
(大変深まった、深まった方)

- ・ 情報誌や広報誌の記事がわかり易く、モニターになって知識が増えた。
- ・ 現地視察に参加したことにより、現場へ行くにも時間がとてもかかり、仕事の大変さが机上のこととは違うことが理解できた。
- ・ 山地災害を未然に防止、軽減する上でも、広く国民に周知すべきだと思う。

(あまり深まらなかった、深まらなかった方)

- ・ もう少し分かりやすいようにしてほしい。字が多すぎるのではないかな。
- ・ 白書を無理やり読まされているような感じがした。

5. 国有林モニターとなって良かったと感じていますか。



主な理由やご意見等

(感じている方)

- ・モニターをしなければ、たぶん一生ふれることのなかったことを知れた。
- ・自分が普段たずさわっている仕事と全くかけはなれた分野だったので、いい経験になり、知識も深まった。
- ・森林・林業の知識を得ることが出来た。現地視察に参加し、森林・林業が地域振興に重要な産業であることを知った。
- ・関東森林管理局として、組織一体となった事業展開をしていることが良くわかり、更なる発展に努力を重ねていただきたい。

(どちらともいえない方)

- ・モニター会議・現地視察日程の都合が合わず、参加できなかったのが残念だった。

6. 最後に2年間の国有林モニターを通じてのご感想、ご意見などがありましたら、お書きください（自由記載）。

- ・2年間で森林・林業について興味を持つことができた。モニターをする前に考えていた「自然」に対する見方が大きく変化した。以前は、単純に自然を大切に、森を増やそうなどと思っていたが、それを実行するには多くの人の支えや活動があってこそ、ということがよく分かった。私たちが国有林にふれる機会は少ないため、モニター制度は今後も続けてほしい。
- ・もっとたくさんの方が国有林に関心をもってくれたらいいと思った。
- ・広報誌「林野」の中で「お山ん画」がよかった。森林の生態、間伐材、動植物の生態への取組など知ることができた。
- ・現地視察に2回参加し、国有林の実情が良く理解できた。広報誌である程度理解していたつもりだったが、現地視察で問題点も分かったので、今後の森林政策を見守って行きたい。
- ・冊子がいろいろありすぎて頭が整理できなくなることもあったので、しぼった企画や紙面で経費を下げられてはどうかとも思った。

- ・ あっという間の2年間でした。広報誌「林野」は初めて知りましたが、毎号楽しみでした。やや専門的な紙面もあった。今後、もう少しお楽しみのあるモニター活動を期待する。
- ・ 今後もホームページや書籍を通じて、日本の大切な森林について、関心を持ち続けたいと思います。
- ・ 今まで省庁モニターに参加したが、林野庁の対応は一番良かった。林野庁のこれからの発展に期待します。
- ・ 森林に手が加えられず、各地で荒れ放題となっている姿を見るにつけ、子供の頃、牛のえさ・たき木・山菜採りに行き、家族友人と遊び場にしていた私にとって、なんとかならないものかと思っていた。少数ではあるがかかわる人々がいて、日々努力工夫されていることがわかり、自分でも取り組めることがあることや、未来を担う子供達に森林での遊びを通して、木々を育む意識を育てられることも知り、モニターになってよかったと思った。近年、木が木材として活用されるのみならず、多方面にわたって活用できることに注目がいき、実用化にむけての取り組みが急がれていることを知り、循環型社会への第1歩になるであろうと思った。そして、木材のもつ無限の力を知ることもできた。
- ・ 国の事業、施策について理解が深まったが、それらの事業が現場レベルへ広がることを期待する。特に地元の森林組合がそうした事業、施策を受入れられる環境整備が必要と思われる。成木化した木々の切出しや製材にはほとんど手が付けられず、専ら間伐程度の事業では将来がありません。国は国有林に留まらず、民間の森林組合等への指導や支援をお願いします。又、鹿対策も広範囲に渡った活動もお願いします。
- ・ 2年間、国有林モニターに参加し、多くの資料はとても解りやすい内容だと思った。私は、人生のほとんどが木材にかかわる仕事でした。これからは、木の良さを多くの人達に伝えていきたい。